

出穂期以降の水管理について

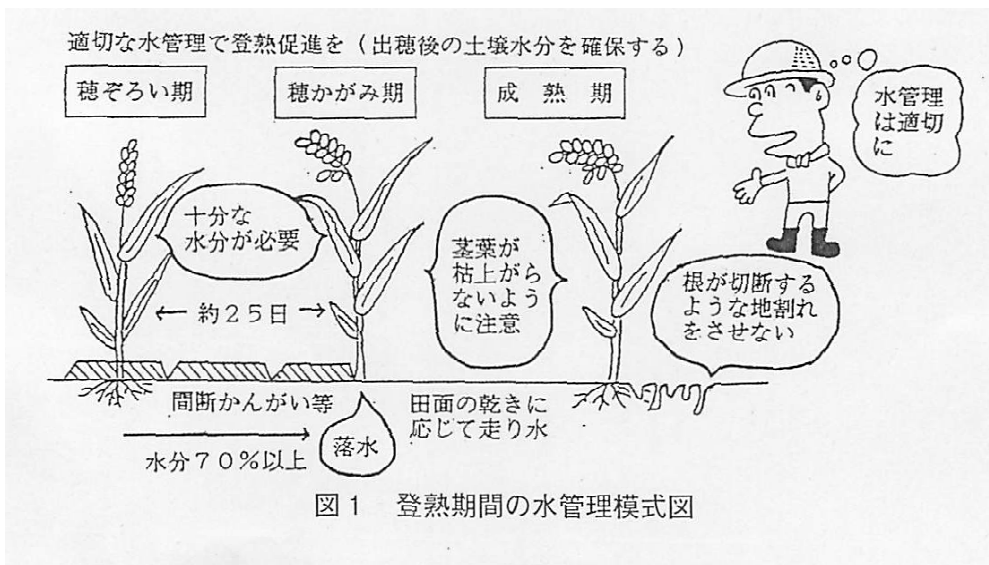
出穂期以降の水管理の目的

出穂期以降の水管理は「良質米の生産」に加えて、「収穫時にコンバインが走行しやすいためのほ場硬度を保つ」目的が加わります。

表1、図1・2を参考に水管理を行ってください。

表1. 排水性と出穂後の水管理について

排水性	土壌	落水時期	落水後の対応
良好	砂壤土・低地土（乾）	出穂期から25日後	落水後に1cm程度のヒビが入ってからは走水で対応
不良	泥炭土・低地土（湿）	全ての穂が出穂してから落水	



注：ヒビの大きさの目安は1cmです。



排水良好田の注意

土壌が乾燥しすぎて根が切断された場合、水が吸えなくなり、粒厚の薄い粒が増加する（屑米の増加）。

排水不良田の注意

収穫時の乾燥が十分でなく、ほ場を傷める。翌春のほ場が乾燥しにくい。

生育が遅く、籾数が多いほ場は8月末に入水を行い、成熟期まで土壌水分を保つ事が重要です。